

地域密着サービス運営推進会議 出欠票

開催日時 : 令和8年7月31日(金) 14:00~15:00

場所 : グループホーム稗原 きんもくせいユニットホール

議題: 1.ご利用者状況

2.近況報告

3.行事報告

4.事故・ヒヤリハット事例報告

5.災害対策について

6.今後の行事・研修等予定

7.意見交換

令和8年7月31日(金)開催 運営推進会議参加者

		出欠	備考
稗原コミュニティセンター長	様	○	
稗原地区自治協会会長	様	欠	
市森地区自治協会副会長	様	欠	
稗原地区社会福祉協議会会長	様	欠	
喜楽会会長	様	○	
出雲あんしん支援センター	様	○	
グループホーム稗原職員	(代表取締役)	欠	
	(管理者)	○	
	(介護支援専門員)	○	

地域密着サービス運営推進会議 報告書

施設名：グループホーム稗原

日 時：令和8年7月31日(金)

14:00～15:00

場 所：グループホーム稗原 きんもくせいユニットホール

参加者：稗原コミュニティーセンター長 様

喜楽会会長 様

出雲あんしん支援センター 様

グループホーム稗原(管理者)

グループホーム稗原(介護支援専門員)

<議題>

- 1.ご利用者状況
- 2.近況報告
- 3.行事報告
- 4.事故・ヒヤリハット事例報告
- 5.自然災害対策について
- 6.今後の行事・研修等予定
- 7.意見交換

<議題>

1.ご利用者状況(令和8年7月30日時点)

	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
男性	0 名	0 名	2 名	0 名	2 名	0 名	4 名
女性	1 名	3 名	2 名	2 名	2 名	1 名	11 名
計	1 名	3 名	4 名	2 名	4 名	1 名	15 名

平均介護度…2.7(要介護1～5:14名)+要支援2:1名

平均年齢…84.8歳(68～94歳)

- ・6/18 5月末より左大腿骨頸部骨折にて入院されていた女性(要介護2)の方が退院・帰設されました。
- ・6/24 男性(要介護4)の方が、移設のため退所されました。
- ・7/7 男性(要支援2)の方がご入居されましたが、7/27退所されました。
- ・7/8 女性(要介護4)の方が、移設のため退所されました。
- ・7/27 女性(要介護4)の方が、心不全のため入院されました。

2.近況報告

現在、2ユニットで14名の方がご入居中です。

日中は1ユニット内にて、一緒に体操やレクリエーション等を行っています。

熱中症アラートが発動するほどの暑さが続いているため、水分補給や皆様の過ごされる空間の室温・湿度管理、衣類調整等を行いながら、熱中症予防に努めます。

屋外での活動は暫く難しいですが、季節感を感じていただける行事やレクリエーションを行い、屋内での活動にて楽しい時間を設けていきます。

3.行事報告

<6月 お菓子づくり>

皆様にどら焼きづくりを行いました。生地を混ぜる工程から皆様に役割分担をお願いし、たくさんのどら焼きができました。

ホットプレートを使用して焼く工程は人気があり、多くのご利用者様がご希望されていました。長年主婦として調理をされていた方も多く、丸めたり焼いたりひっくり返したりと自ら率先して手を伸ばされていました。男性の方も最初は戸惑われましたが、何をすればいいかお伝えすると楽しんで参加されていました。

完成したどら焼きを皆様に召し上がられ、「おいしいわー」ととても喜ばれていました。

<7月 七夕会・誕生会>

七夕会と3名の方の誕生会を行いました。

事前に笹の飾りを作ったり、七夕の塗り絵をしたり、準備を重ねました。皆様の背丈以上の笹が来ると皆様喜ばれ、用意していた飾りや短冊を我先にと飾っていらっしゃいました。短冊には、健康を願う言葉やご自分の夢など思い思いに書かれました。

誕生会では、お祝いの歌やプレゼントをお渡しすると、照れながらも祝われることを喜んでいらっしゃいました。

4.事故・ヒヤリハット事例報告

○事故報告

・事例①86歳 男性 要介護4

(内容)

衣類の汚染があり上下ともに着替えをしている際、上着の脱衣時右前腕に3cm大の表皮剥離ができていたのを発見する。出血が見られる。

(ご利用者様の状況・対処)

痛みの訴えはなし。主治医に報告。患部を暫く圧迫し止血を行うように指示あり。その後、軟膏とガーゼ保護にて対応するように指示を出される。

(原因)

・両肩・肘の拘縮があり、右前腕は以前にも剥離があったため、左側からの着替えを行っていたが、どこかの場面で皮膚との摩擦が生じてしまった可能性があり。

(再発防止に向けて)

・衣類を伸べる生地を使用し、着脱時には細心の注意を払う。

・事例②93歳 男性 要支援2

(内容)

日中、居室から廊下へ出るためにスリッパを履こうとされた際、バランスを崩され転倒される。大きな音がしたため、発見する。

(ご利用者様の状況・対処)

転倒直後は、後頭部を打ち「頭が痛い」と仰られる。その他、右前腕に3cm大の剥離ができており、出血が見られた。

そのほかの身体の確認を行おうとすると、嫌がられ確認できず。

患部の状態確認、バイタル(体温、血圧、脈拍、酸素飽和濃度)測定後、主治医に報告。頭部打撲については経過観察となり、右前腕剥離についてはガーゼ保護となる。

(原因)

・比較的足取りはよく安定した歩行状態ではあったが、バランスを崩し転倒されてしまったよう。

(再発防止に向けて)

- ・スリッパを靴に変更する。
- ・靴を履いていただく場所を廊下側ではなく、室内の入り口付近に変更する(洗面台があるため掴まりやすい)。

○ヒヤリハット

・事例①75歳 女性 要介護3

(内容)

日中ホールのテーブル席にて他ご利用者方と座っておられる。お一人で指先を動かされていたため確認すると、ゼムクリップを口に入れようとしたため回収する。

(対策)

ホール内にある職員用のデスク上にあったものを手にされたと思われる。食べ物とそうでない物の区別がつかず、手頃なサイズの物は何でも口に入れてしまわれる為、デスク上には小物を置かないようにする。

・事例②75歳 女性 要介護3

(内容)

朝食が終わり約2時間後、昼食後薬の準備をする際に、ご本人の朝食後薬が残っているのを発見する。夜勤者に確認すると服薬介助を行った記憶がなく、発見時点で服薬をしていただく。

(対策)

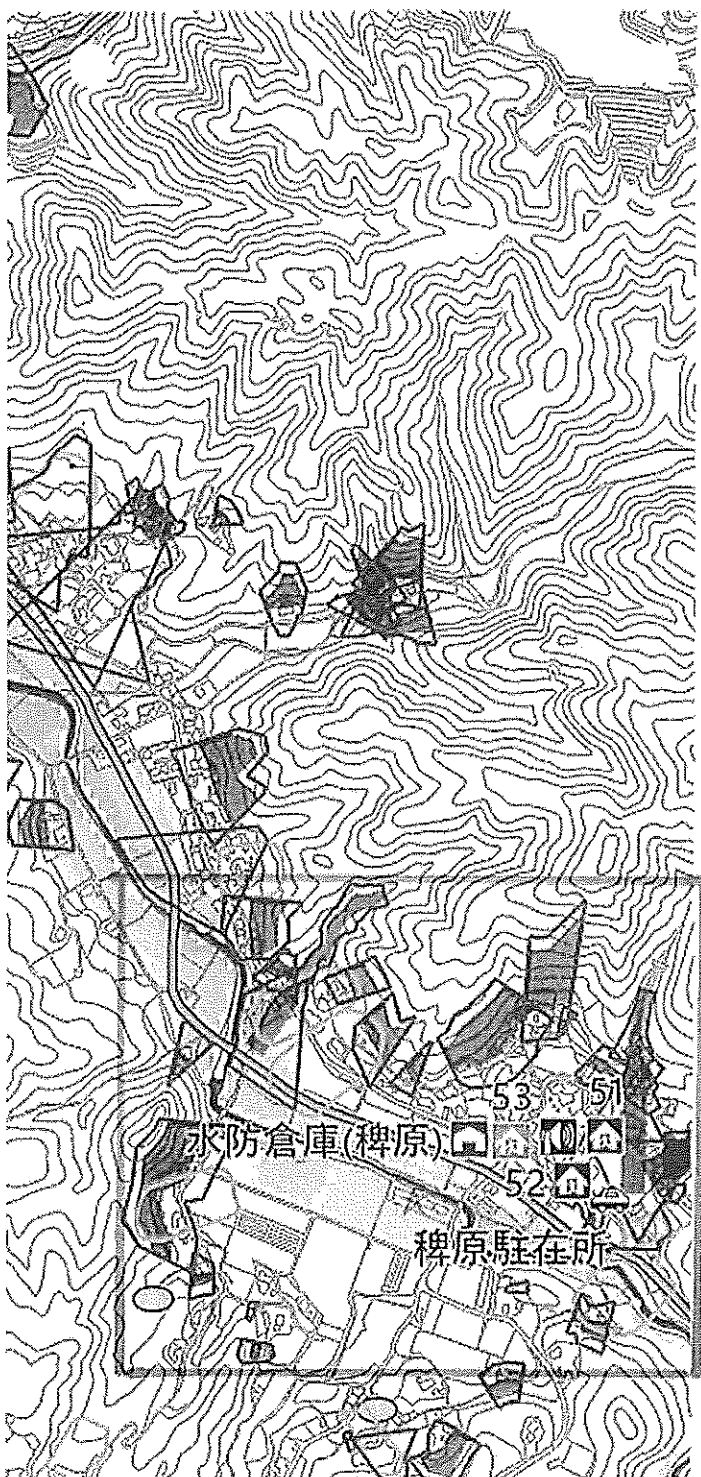
皆様の食後、服薬時にはダブルチェックを行っているが、ご本人の薬が残っていることに気づかなかったよう。服薬が終わったつもりでも、再度残薬がないかセットしているトレーの確認を行うことを徹底する。

5.自然災害対策について

出雲市より令和8年度版防災ハザードマップの配布がありました。当グループホームは前回のハ

ザードマップではリスクの色付けはありませんでしたが、今回浸水(0.5m)の可能性があると出ました。

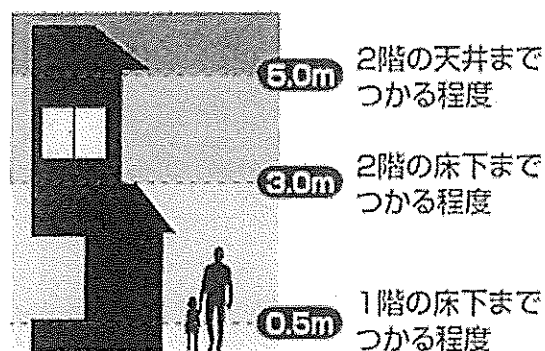
令和3年度の豪雨の際も浸水の可能性が高まり、市森集会所までの避難を経験しています。改めて避難開始の判断基準、避難後のBCP発動を再確認し、有事の際の対応を職員全体で共有してまいります。また、市森自治会の皆様とも情報共有をさせていただき、速やかに避難等の対応が行えるように体制を整えます。



凡 例

R3年度版
防災ハザードマップ

浸水深：想定最大規模



このハザードマップに記載した浸水想定区域は、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により、斐伊川、神戸川、二級水系河川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

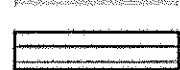
支流の氾濫、想定条件の降雨を超える規模の大雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を反映していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

家屋倒壊

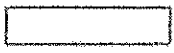
 洪水氾濫・河岸侵食

*家屋が倒壊するような氾濫や河岸の侵食が発生するおそれがある区域や、家屋の最上階も水没するおそれのある区域です。災害時には、避難指示などに従って、当該区域から安全な場所へ速やかに、確実に立ち退いてください。

洪水時に早期の立退き避難が必要な区域

 浸水想定区域で 浸水深3m以上	早期に自宅外の 安全な場所への 避難が必要な区域
 家屋倒壊等 氾濫想定区域	

土砂災害

 警戒区域(急傾斜)
 特別警戒区域(急傾斜)

6.今後の行事・研修等予定

○行事予定

8月：誕生会、ミニ夏祭り

9月：ミニ運動会

○研修・委員会・訓練等予定

8月：感染症・食中毒及び蔓延の防止に関する研修

9月：身体拘束の排除に関する研修

7.意見交換

○定員は何名ですか。

→18名です。

・現在3部屋の空室があるということですね。

→はい、その通りです。

○入院の方は、在籍しているという形でよいですか。

→はい。2～3週間での退院予定であり、その後帰設される予定です。

○要支援2の方がご入居され、早々に退所されていますが、どのような経緯か教えてください。

→ご入居前は在宅で生活されていましたが、息子様がいらっしゃいましたが折り合いが悪く、ご本人の生活スペースは自宅内の事務所のようなところで、冷暖房の設備もなく最近では食事もままならなかったようです。そのため、妹様がこまめに様子を見に行っていたら、妹様もご高齢でご自分の生活もあり、ご本人の早期ご入居をご希望されていましたが、ご本人の同意も得たうえで7月上旬にご入居されましたが、退所当日は朝から荷物をまとめ、自宅へ帰ることを強く希望されていましたが、妹様にも来所いただき、せめて夏季の間のご利用をお願いしましたが、ご本人の意志は固く、妹様も在宅復帰を認められたため、その日のうちに退所という形になりました。

○ハザードマップの更新があり、事業所周辺のリスクの程度変更があったようですが、事業所は比較的高い位置にあるので、相当な状況に見舞われない限り浸水等の被害は出ないと思われます。

→そのような状況にならないことを願いながら、有事の際は適切なタイミングでの避難等が行えるように情報共有や訓練を行っています。

○先日(7/20 海の日)に町内をじんじ花が通りましたが、見られましたか。

→残念ながら気づいた時には過ぎていました。

・今年は例年とルートが少し異なったので、早めにわかれば見える位置もあったかもしれませんね。

→毎年通り沿いまで出て観覧させていただいています。

○現在稗原地区の方は何名ご入居されていますか。

→現在1名です。

○食事の準備は変わらず朝夕食を GH で調理されていますか。

→はい、その通りです。

○現在空室があるとのことですが、他の施設もでしょうか。

→他の施設がどれくらいの利用者を確保されているかわかりませんが、施設によっては満室の上に待機者がいる施設もあると思います。

・やはり満床でないと経営的には厳しいですね。

→はっきりとした経営状況は不明ですが、厳しいとは思いますが。

○親族が入居した施設は“有料”と名称についていましたが、グループホームは介護保険等の利用料以外有料ではないのですか。

→グループホームも有料ではあります。“有料”と名称につく施設はいわゆる有料老人ホームと言われる施設の種類の種類ではないかと思っています。

・グループホームとはどのような分類になりますか。

→正式名称は、認知症対応型共同生活介護という種類の施設です。グループホームは、認知症の診断がある方で要支援2以上の判定が出ている方が対象となります。小規模の施設なので、その点のメリットがあります。

・他にも様々な種類の施設や、利用するために条件がありますか。

→様々な種類があります。利用条件もそれぞれで異なりますが、先に出た有料老人ホームは、金銭的な心配がなければ比較的誰でも入居しやすい施設かと思っています。金銭的な制限があると、希望した時点ですぐに施設入居できるとは限らず、希望の金額の施設に入居できるようになるまでは、ある程度在宅での生活を続けられる場合が多いかと思っています。

・比較的に入所しやすい施設は、介護保険の認定はいらないですか。

→原則、介護認定は受けていただきます。

以上